

# ON YOUR SIDE REPORT

## 2015.12

### 京都中央信用金庫の現況

2015年度第3四半期（2015年4月1日～12月31日）における経営情報を開示いたします

#### 当金庫の概要（平成27年12月31日現在）

本店所在地 / 京都市下京区四条通室町東入  
函谷鉾町91番地  
創立 / 昭和15年6月18日  
預金積金残高 / 4兆3,786億円  
貸出金残高 / 2兆3,472億円  
出資金 / 212億円  
会員数 / 234,918人  
店舗数 / 129店舗  
職員数 / 2,673人

(注) この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

# T O P I C S

■2015年10月1日～12月31日

10月

OCTOBER

- ・平成28年度入社予定者内定式開催
- ・一時払終身保険「えがお、ひろがる」取扱開始
- ・平成27年度高齢者雇用開発コンテスト「厚生労働大臣・最優秀賞」を受賞
- ・「中信ビジネスフェア2015」（「第27回大商談会」・「第8回中信学生デザインコンテスト」）  
　　《京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）》開催（14～15日）
- ・個人専用プリペイドカード「NEO MONEY」取次業務開始
- ・第110回「中信青年経営者倶楽部」例会開催
- ・「石本 正 新作展-旅-」開催（中信美術館 28日～12月10日）
- ・第12回「中信レディースオープンゴルフ大会」開催

11月

NOVEMBER

- ・理事長 布垣 豊 会長就任、専務理事 白波瀬 誠 理事長就任、理事 新宅 覚、安川 淳史 常務理事就任
- ・「ウォームビズ」実施
- ・「年末特別定期預金2015」販売（2日～12月30日）
- ・京税中信クラブ「第37回関与先企業懇親会」開催
- ・第123回「中信禅サークル」《建仁寺》開催
- ・「みやこ京大イノベーション投資事業有限責任組合」へ出資
- ・上半期ディスクロージャー誌『京都中央信用金庫の現況 ON YOUR SIDE REPORT 2015.9』発行

12月

DECEMBER

- ・冬の節電に対する取組み実施
- ・ちゅうしん・ハラルビジネスセミナー開催
- ・中信美術館 来館者が10万人を突破
- ・「中信サクセスクラブ」セミナー開催
- ・小倉支店 新築移転オープン
- ・「歳末ふれあい募金」公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団へ寄託
- ・店舗外ATM駅前支店 地下鉄京都駅出張所 開設
- ・店舗外ATM本店営業部 地下鉄四条駅出張所 開設
- ・『京都中信 京町家レジデンスローン（住宅ローンコース・リフォームコース）』・  
　　『京都中信 京町家ビジネスローン』取扱開始



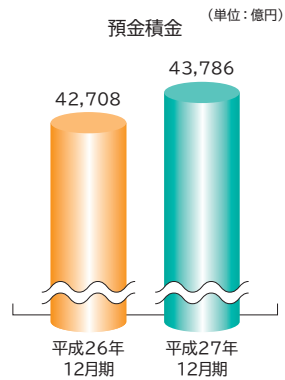
中信美術館 10万人目の来館者の方に  
花束と記念品を贈呈



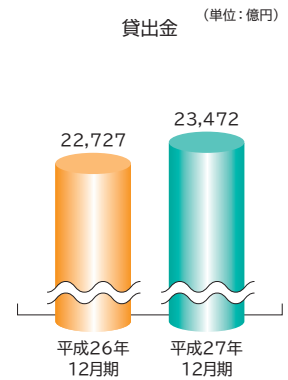
小倉支店 新築移転オープン

## 預金・貸出金の状況

預金積金については、年金受給口座の増加等により個人預金が順調に推移しました。また、法人預金も増加した結果、平成27年12月期の残高は、前年同期比1,077億円増加し、4兆3,786億円となりました。



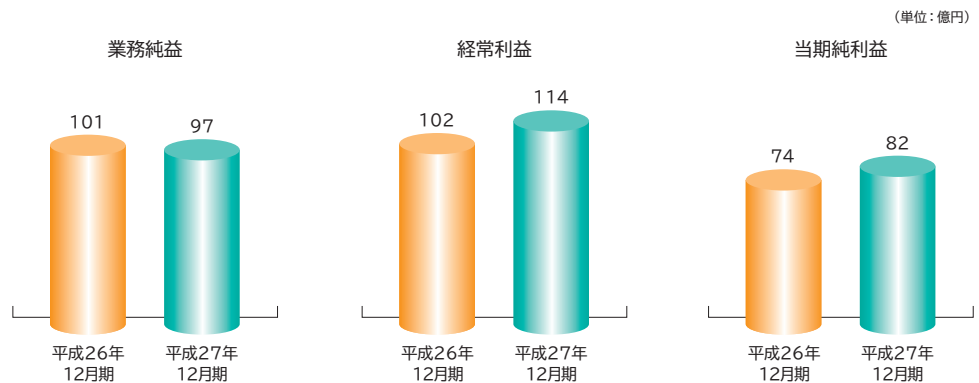
貸出金については、事業性資金及び住宅ローンが順調に推移したことから、平成27年12月期の残高は、前年同期比744億円増加し、2兆3,472億円となりました。うち、中小企業等向け貸出金は2兆1,839億円となりました。



## 損益の状況

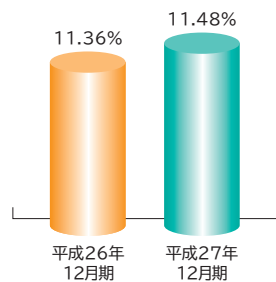
平成27年12月期における業務純益は、利回りの低下による貸出金利息の減少等により、前年同期比4億円減少し97億円となりました。一方、与信関連費用が減少したため、経常利益は前年同期比11億円増加し114億円となりました。

この結果、当期純利益は前年同期比7億円増加し82億円となりました。



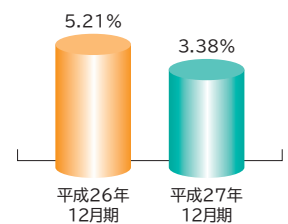
## 自己資本比率の状況(単体)

平成27年12月期の自己資本比率は、内部留保を順調に積み上げたこと等により、前年同期比0.12ポイント上昇の11.48%となり、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。



## 開示債権の状況

平成27年12月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は797億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は3.38%となりました。



(注1) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注2) 中小企業等とは、資本金の額又は出資の総額が3億円(ただし、卸売業は1億円、サービス業は5千万円、小売業は5千万円)以下の法人たる事業者又は常用する従業員の数が300人(ただし、卸売業は100人、サービス業は100人、小売業は50人)以下の事業者及び個人です。

## 預金・貸出金の状況

(単位：億円)

	平成26年12月期	平成27年12月期	増減
預金積金(A)	42,708	43,786	1,077
貸出金(B)	22,727	23,472	744
預貸率(B/A)	53.21%	53.60%	0.39%

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 損益の状況

(単位：億円)

	平成26年12月期	平成27年12月期	増減
業務純益	101	97	△4
経常利益	102	114	11
当期純利益	74	82	7

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 自己資本比率の状況(単体)

(単位：億円)

	平成26年12月期	平成27年12月期	増減
自己資本額(A)	2,288	2,369	80
リスク・アセット等(B)	20,143	20,630	487
自己資本比率(A)/(B)	11.36%	11.48%	0.12%

(注1)上記の数値は速報値です。

(注2)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

(注3)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による 開示残高	平成26年12月期	構成比	平成27年12月期	構成比	増減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	72	0.32%	77	0.33%	4
危険債権	1,035	4.54%	676	2.87%	△359
要管理債権	79	0.35%	43	0.19%	△35
小計	1,188	5.21%	797	3.38%	△390
正常債権	21,620	94.79%	22,778	96.62%	1,158
合計	22,808	100.00%	23,576	100.00%	767

(注1)上記の数値は速報値です。

(注2)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。